

平成23年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	国際連合国際防災戦略事務局(UNISDR)拠出金 (任意拠出金)	担当部局庁	国際協力局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度開始	担当課室	緊急・人道支援課	課長 青木 豊				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅶー3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項	関係する計画、通知等	第54回国連総会決議(A/RES/54/219) 第54回国際連合総会決議54/219(2000年) 第56回国際連合総会決議56/195(2002年)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	UNISDRは、唯一の防災に特化した国際機関であり、国際防災協力を推進している。具体的には、グローバルな防災戦略である「兵庫行動枠組2005-2015」を実施し、フォローアップを行う中心的役割を担っている。我が国は、防災大国としての経験・知見を活かし、国際防災協力を積極的に進めていることから、同事務局の活動を支援している。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	UNISDRを通じて、主に途上国における災害被害の軽減を、以下の活動を通じて実施する。 1 兵庫行動枠組2005-2015のフォローアップ 2 各国政府、国際機関、地方自治体、防災センター、有識者等の協調・連携強化 3 防災に係わる知識・情報の共有 4 気候変動適応策としての防災対策強化							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	96	88	79	69	69	
	執行額	96	88	79				
	執行率(%)	100%	100%	100%				
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20(2008)年	21(2009)年	22(2010)年
兵庫行動枠組の推進		成果実績	国	41	64	—	193	
(国家レベルで防災調整メカニズムを設置した国数)		達成度	%	21%	33%	—		
(注) 機関全体の目標及び実績								
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①国際防災会議の開催(隔年) ②国連世界防災白書の作成(隔年) ③都市防災キャンペーン等の実施(2008年-) (注) 機関全体の指標及び実績		活動実績 (当初見込み)	①国 ②国 ③機関/都市	①— ②— ③—	①152ヶ国 ②62ヶ国 ③80,000機関	①— ②— ③160都市	①168ヶ国 ②113ヶ国 ③718都市
単位当たりコスト	67万ドル/国	算出根拠	2009年のISDR総事業費(15.5百万ドル)÷(23カ国(2009年から2008年にかけて防災調整メカニズムを設置した国数) = 0.674(百万ドル)					
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	国際連合国際防災戦略事務局(UNISDR)拠出金	68,979	68,979					
	計	68,979	68,979					

事業所管部局による点検			
	評価	]	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	ドナー会合の場を通じて、引き続き効率的な事業の実施を求めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			